

**製品名: BNIP3L ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01732**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 24 kDa; Observed MW: 38 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BNIP3L
別名	Adenovirus E1B19k binding protein B5; BNIP3a; BNIP3H; BNIP3L; BNIP3L protein; NIP3 like protein X; NIP3L; NIX
遺伝子 ID	665
SwissProt ID	O60238
免疫原	ヒト BNIP3L の合成ペプチド

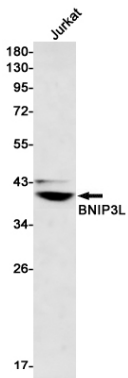
**背景**

アポトーシスを誘導する。ウイルスおよび細胞の抗アポトーシスタンパク質と相互作用する。抑制因子である BCL-2 および BCL-XL を阻害するが、BCL-XL の高発現はアポトーシスを阻害する。腫瘍抑制因子として機能する可能性がある。BNIP3 によって誘導されるアポトーシスを阻害する。

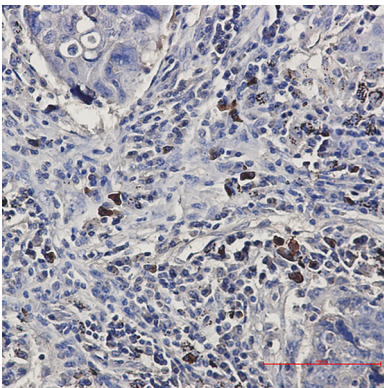
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



BNIP3L 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の BNIP3L のウエスタン プロット分析。



BNIP3L 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。